



若草萌える季節、町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、数多くの諸先輩がられる中、歴史と伝統のある肥田町の自治会長の重責をお預かりすることとなりました。勿論初めての経験であり、不安がいっぱいでもございますが、役員各位、町民の皆様のご理解ご支援をいただきながら努めて参りたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

自治会長 大家勝治



hida

広 報

ひだ

町 木



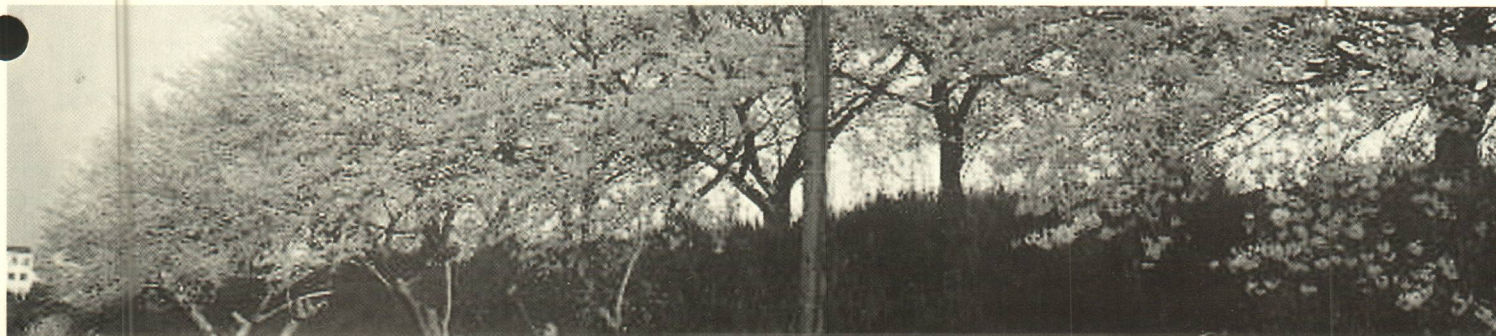
第50号

肥 田 町

まちおこし推進協議会

H21.4.1 発行

成して田圃に作付けが予定されています。大きくきれいに整備されたことにより耕作も容易になります。これからは維持管理体制を通じて、より有効な田圃の運営に期待したいと思っております。
圃場整備の完成に際しましては、農対委員長をはじめ各委員、関係各位、町民皆様の格別のご努力ご支援の賜と深く感謝している次第です。
2年前からスタートしています「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」「農地、水、環境向上対策」(肥田まちおこし推進協議会)も3年目に入り、より一層の活動強化に励み環境に優しい田圃づくり及び裏川改修、道路整備の環境改善などを含め、より住み易い町づくりに努力して参りたいと思っております。
これからの肥田町の発展を願った活動に、お互い皆で力を合わせて一つ一つ進めて参りたいと思いますので、一層のご支援を賜りますよう役員ともども何とぞよろしくお願い申し上げます。
最後になりましたが、町民皆様の益々のご健勝とご多幸を念じてご挨拶とさせていただきます。



平成21年度 自治会役員

自治会長	大家勝治
副自治会長	薩摩直弘
会計部長	青木 洋
文教部長	元持 清
環境部長	滝 政久
体育部長	鶴野 忠
福祉部長	大村治郎
改良組合長	児玉和男
副改良組合長	西田幹雄
水利防除部長	宮川幸司



大城 風花(ふうか)さん
お母さん…大城実紀子

大きくなったら きれいなきれいな お花屋さんになりたいです。
今、わたしのだいすきなことは、いちりんしゃ(一輪車)にのることです。



森野風圭瑠(かける)さん
お母さん…森野波留子

大きくなったら プロスノーボードの選手になってオリンピックに出たいです。
今、わたしのすきなことは、ポケモンのシールあつめです。スノーボードもだいすきです。



宮川 愛那(あいな)さん
お母さん…宮川美香

大きくなったら おいしいケーキさんになることです。
いま、わたしのいちばんすきなことは、いちりんしゃ(一輪車)にのることです。

平成21年度

ご入学おめでとう

ピカピカの1年生

「大きくなったら私の夢は」「私の大好きなものは」



梅の香匂う春の訪れに誘われて、2月23日に肥田町公民館で初めての和み会の憩い処を開きました。大勢の方々のご参加をいただき有難うございました。
今回は、いくつかの遊びの輪の中へ、各人がそれぞれの好みに合わせて融けこんでいただき、なごやかに和気あいあいの時間が広がりました。
初めての企画で、少しでもお役に立てればと思っておりましたが、「お互い同世代だから気楽に楽しめました」「心地よく気分転換が出来ました」等のお声を頂戴して喜んでいきます。
これからは、この時間を心身ともに「若がえろう会」と称して、皆で知恵を集めて重ねて行きたいと思っています。
ボランティアサークルスタッフの皆さんにはご苦勞様でした。
ボランティアサークル ひだまり



和み会



「若がえろう会」

始めました。

発掘により肥田町の文化財的価値高まる

肥田城跡確定

肥田城跡については従来からいろいろ言われて来ました。

たとえば、小字山王、月山辺りが小高い土地だったところから、城の中心ではなかったかという推測もありましたが、山王付近は、仏様(縣仏)、五輪塔、卒塔婆などが出土し、寺院や持仏堂のあったことが分かりました。

山王付近には丹波屋敷をはじめ武家屋敷らしい小字名がありますが、それらがすべて肥田城と同時代の室町時代後期の住居跡で、家具や生活用品も発掘され、城を補完する城館といえるようです。

結局、肥田城跡は山王の東側の「慶安三年(一六五〇)八月、彦根藩によって開墾された」と記されている小字上新田、下新田で当時の面積三町五反九畝十七歩がそれに当たるようです。堤や堀のある城だったようですが、徹底して開墾されたためか、今回はそれらしい遺物は何も発掘されませんでした。

城下町として土塁の現存は貴重

肥田城主は室町期は高野瀬累代、織豊期は蜂屋頼隆、長谷川秀一でした。城や武家屋敷の城館を中心に西に小字登町、東に小字西町、小字東町が城下町としてつくられ、その外側約八百mを土塁と堀で固め、とくに土塁と城門の一部が現存しているのはとても貴重だと言われています。

永禄二年(一五五九)肥田城水攻めのための土塁が、現聖泉大学北から野良田町東にかけて築かれたといわれていますが、その構築も史実であることが検証されました。

平成18、19、20年の3年がかりで、町圃場整備事業に先がけて行われた県文化財保護協会による埋蔵文化財の調査結果で、肥田町が、素晴らしい埋蔵文化財的価値を有している地域であることが実証されました。

またその結果、いままで考えられていた肥田の歴史を一部修正したり、史実として確認したり、伝承を補強するような新たな史料ともなりました。

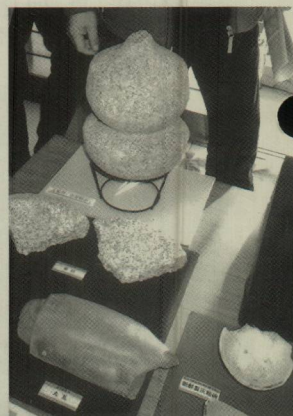
墓立遺跡は肥田城以前の様子を伝える

旧小字「北墓立」には、奈良～平安～鎌倉期、肥田の土豪と思われる住宅や倉庫跡が、何度も建て替えられながら(家屋の床面積は広くなりながら)出土しましたし、土豪の家屋跡から東山道(中山道)にむかって8m幅道路も発掘されました。

これらは肥田築城以前の遺跡で、山王をめぐる肥田の古代伝承も蘇ってまいります。

「塚乞手」周溝遺跡

今回の発掘調査では最も古い五～六世紀前半の遺物が、小字「塚乞手」の東南から出土しました。その古墳の周溝から土の埴輪とともに、鳥形と笠形の木製はにわと杭の支柱がでてきました。発掘例の少ない埴輪なので注目されています。



市指定文化財への道も

彦根市教育委員会文化財課では「肥田城遺跡」として、市の指定文化財にすることを歓迎していますが、私有財産の場合は各人の承諾が必要なので、とりあえず限定的に自治会所有の土地、たとえば「土塁」、「山王」辺りからという声が出ています。

高瀬 俊英

ホーホー ホタル来い

「ホタルを育てている川」です

4月中旬頃には雨の降る夜、川辺にホタル幼虫の上陸が始まり
小さく光るのが見えますよ。

私たちは、環境保全向上対策の一つとして既にご案内の通りホタルを呼び戻そうと、昨年夏以来、ホタルを守る会の先輩のご指導を得ながら進めてきています。昨年は、川辺の繁茂した草刈り、川の中の藻類、ゴミの除去清掃に始まり、カワニナ、ホタルの幼虫を多く放流、年を越えては川底に碎石を敷き、川辺にはアジサイ、サツキ、ユキヤナギなどの低木を植栽し、ゲンジボタルの大切な餌となるカワニナを集めて来て度々放流し、またカワニナの餌になるジャガイモも度々多く撒いてカワニナの繁殖も図ってきました。

美しい水の流れる川、草木のある川辺、大量のカワニナの住む川が、ホタルには欠かせません。そしてこの周辺だけは空中防除を避けて頂くをお願いしています。

今日まで準備作業は整えました。この川に渡しの橋も作りました。まずは4月に入ってから約9ヶ月の間、水の中で生活した終齢の幼虫が雨の降る夜に一齐に川辺への上陸を始めます。そして川辺の土中で土まゆを作ってサナギになります。その間は約40日間。6月から7月に飛び始めます。今はただ第一年度、ホタルの飛び立つのを念じるばかりです。

(場所は、青木徳男さん宅の横から宇曾川堤に沿って田圃との間の水路で、西に向かって流れている川一帯です。看板が立ててあります。)

子供会の皆さんには、現場でホタルミニガイドを渡して説明しています。

藤野 泰弘

ゲンジボタルの一生

